
クールルーフ技術の適正な普及に向けた 公開研究会 適応策としての性能評価と普及に向けた課題

主催：一般社団法人日本建築学会 環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会 クールルーフ適正普及促進小委員会

日時：2018年7月6日（金） 14:00～17:00

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

都市ヒートアイランド対策効果が期待される屋上緑化，高反射率塗料，保水性建材などのクールルーフ技術の適正な普及を促進するためにどのようなことが必要であるかを議論する。具体的には，ヒートアイランド適応策としての性能とその評価方法，新たな技術（日射遮蔽膜，再帰反射フィルムなど）の可能性，などについて話題提供したうえで，適応策としての性能評価と適正な普及に向けた課題について議論する。

<プログラム>

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 趣旨説明 | 竹林英樹（神戸大学） |
| 2. 話題提供 | 司会：赤川宏幸（大林組） |
| ・ヒートアイランド適応策として期待される性能 | 竹林英樹（前掲） |
| ・適応策としての評価方法 | 三坂育正（日本工業大学） |
| ・新たな技術の開発状況と評価事例 | |
| 1）日射遮蔽膜の性能と暑熱環境緩和効果の評価 | 石丸泰（環境情報科学センター） |
| 2）再帰反射フィルムの性能評価 | 播磨龍哉（デクセリアルズ株式会社） |

<休憩>

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 3. ディスカッション | 司会：三坂育正（前掲） |
| コメンテーター：森山正和（神戸大学名誉教授），吉田篤正（大阪府立大学） | |
| 4. まとめ | 近藤靖史（東京都市大学） |

参加費：会員 1,000 円，会員外 1,500 円，学生 500 円（資料代含む，当日会場でお支払いください）

定員：50 名（申し込み先着順）

申込方法：本会 HP「催し物・公募」よりお申し込みください。

<http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=613732>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 中村 TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura@aij.or.jp